

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（組織）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（組織）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

TIL を豊富に有する乳癌（LPBC）の特徴的な超音波画像所見の検討と診断予測への応用

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 亀井義明 肝胆膵・乳腺外科 講師

【研究代表者】 角舎学行 広島大学病院乳腺外科 講師

【研究の目的】

腫瘍浸潤リンパ球(TILs: tumor infiltrating lymphocytes)は乳がんの重要な治療効果および予後予測因子であることが明らかになっています。この TILs は生検もしくは手術で切除した乳がんの病理組織で検査を行っています。今回、侵襲のない超音波画像検査で TILs を予測することを目的にこの研究を計画しました。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2014年1月1日から2021年12月31日の間に、愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科で乳癌に対して、通常診療で乳腺超音波検査を行い、外科的治療を受けられた患者さん

本研究は、診療録（カルテ）情報と乳腺超音波検査のデータおよび切除した乳癌・あるいは生検組織の乳癌を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、乳腺濃度、乳腺腫瘍の位置と大きさ、乳腺腫瘍の病理組織像、乳腺画像、特に乳腺超音波検査上の大きさや形状などの所見および病理学的な大き

さや形状などの所見です。(個人が特定出来る情報は転記しません)

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは匿名化されて、パスワード付きの電子媒体を郵送により広島大学病院に送られます。また病理組織のプレパラートは匿名化した状態で郵送により広島大学病院に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

肝胆膵・乳腺外科 講師 亀井義明

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

〒791-0295

愛媛県東温市志津川 愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科

TEL 089-960-5327 FAX 089-960-5329